

平成 28 年度第 1 回技術委員会議事録

会議名	金属・セラミックス技術委員会	主催者：電気学会
日時	平成 28 年 4 月 14 日(木)15:00～17:00	場所：(社)電気倶楽部 B 会議室
出席者	吉川(横国大)、木村(古河)、岩城(日立)、窪谷(東芝)、高木(東京工科大)、水野(鉄道総研)、日高(産総研)、石崎(埼玉工大)、藤巻(名大)、伴野(NIMS) 【敬称略】	

【配布資料】

- 1) 280414-1 前回 (H27/10/15) 議事録 (案)
- 2) 280414-2 電気学会 金属・セラミックス技術委員会 名簿
- 3) 280414-3 平成 28 年度 金属・セラミックス技術委員会役割分担
- 4) 280414-4 位相エンジニアリングに基づく低温エレクトロニクス調査専門委員会活動方針及び報告書
- 5) 280414-5 「位相エンジニアリングに基づく超電導エレクトロニクスの最近の進展」特集
- 6) 280414-6 電気学会の研究会の御案内
- 7) 280414-7 平成 27 年度 活動状況
- 8) 280414-8 平成 28 年度 活動計画
- 9) 280414-9 平成 28 年度 金属・セラミックス技術委員会活動計画

【議事】

1. 前回議事録の確認
  - ・ 資料 280414-1 に基づき前回議事録の確認を行い承認された。
2. 名簿の確認
  - ・ 資料 280414-2 に基づき名簿が確認された。
3. 役割分担の確認
  - ・ 資料 280414-3 に基づき各委員の役割分担について確認された。窪谷委員には引き続き編集委員を引き受け頂くことをご了解いただいた。
4. 調査委員会活動状況
  - ・ 資料 280414-4 に基づき、藤巻委員より位相エンジニアリングに基づく低温エレクトロニクス調査専門委員会活動状況が報告された。去年度は 2 回開催され、2 回目の委員会では、海外研究者 2 名（横国大客員教授および名大滞在研究者）にも発表頂いた。いずれも旅費は支給していない。
  - ・ 当該調査専門委員会は 9 月までを予定している。技術報告書を年度末までに作成する必要がある。分量は 50~100 ページ程度。サンプルを吉川委員長から藤巻委員へ送付する。報告書は電気学会事務に直接送付し、その旨金セラ委員会に連絡する。研究会等で販促することが望ましい。
5. 特集号の企画について
  - ・ 資料 280414-5 に基づき確認された。藤巻委員より、執筆者 5 名の方のご内諾は得られているが伝達が不十分で、投稿締切を過ぎているがまだ 1 件も集まっていない。今月末を目途に至急対応する。

- ・ デッドラインは9/10である。査読期間を短くすることは難しい。

#### 6. 研究会の共同開催について

- ・ 資料 280414-6 に基づき、今年度の超電導機器技術委員会との共同開催の概要と 6 月開催の合同研究会について説明があった。超電導機器技術委員会と相談し、今年度は双方の技術委員会主体で 1 つずつ、計 2 回の合同研究会を開催することとなった（優良発表賞の推薦枠にも関係するため）。6 月開催は超電導機器技術委員会が中心となって準備を進める。金セラ技術委員会としては、12 月に開催予定の若手セミナー（下山委員ご担当、日程：ISS(12/12-15)の前日か）を当技術委員会主体で合同開催する。
- ・ 6 月開催に関しては、吉川委員長、水野委員、伴野委員で 1 件ずつ関係者を勧誘する。

#### 7. 平成 27 年度活動状況

- ・ 資料 280414-7 に基づき、平成 27 年度の金セラ技術委員会の活動状況が報告された。3/18 に開催された全国大会での金セラ技術委員会によるシンポジウム企画「超伝導ケーブルの開発現状と将来展望」は盛況であった。

#### 8. 平成 28 年度活動計画

- ・ 資料 280414-8、280414-9 に基づき、平成 28 年度金セラ技術委員会活動計画について説明があった。
- ・ 新しく超電導材料の評価技術調査専門委員会（仮）の設置を予定しているが、木須先生（九大）のお時間が取れずもう少し時間がかかる。
- ・ 見学会については、古河電工日光事業所とする方向で木村委員に検討を進めて頂く。
- ・ 全国大会シンポジウム（富山大、3/16～17）のテーマは 8 月あたりに運営委員会へ提案しなければならない。1 案として、調査専門委員会に関連し、位相エンジニアリング、量子アニーリング等をキーワードとして企画することが提案され、藤巻委員にご担当頂くこととなった。応用物理学会とバッティングしており、集客が心配。
- ・ シンポジウム企画の具体的スケジュールとしては、まず 8 月に企画書の提出が求められる（吉川委員長から事務局へ）。それまでに講師をある程度想定しておく。最終締め切りは 10 月。
- ・ A 部門大会テーマ付きセッション（九工大、9/6～7）の企画は、ASC（国際超伝導応用会議）と日程が重なっており、本年度は見送りか。できれば A 部門大会でセラミックス関係者を引き込みたい。
- ・ 技術レビューはなくなったか。依頼が来たら対応する。

#### 9. 調査専門委員会立ち上げ状況

- ・ 調査専門委員会立ち上げ状況について議論がされた。現在設置の位相エンジニアリングに関する調査専門委員会は継続の方向とすることが確認された。藤巻委員長の継続が可能かどうか確認する。できない場合、日高委員にお願いする。
- ・ その他、セラミックスの分野では（福島のものもあり）色素増感太陽電池やパワーMOSFET、絶縁などが注目されている。石崎委員に新規調査専門委員会の立ち上げを視野に、探りを入れて頂きたい。

#### 10. その他

- ・ 次回委員会の開始時間を 15:30 とするか。